

1-VII 院内事故・転倒

①院内事故・転倒件数（入院中） 年別（2022年～2023年）

その他…チューブ抜去、離院、
離棟、セラピストによる訓練
間違い等



事故区分	事故レベル	内容
インシデント	1	事故により患者さま及び職員への実害はなかったが、何らかの影響を与えた可能性はある。観察を強化し、心身への配慮に必要性が生じた場合。
	2	事故により患者さまへ観察強化の必要性和バイタルサインに変化が生じた、又は検査の必要性が出た場合。
	3a	事故のため治療・処置の必要性が出た場合。
アクシデント	3b	事故のため治療・処置を要し、かつ入院日数が増加した場合。骨折を伴う場合。
	4	事故による障害が一生続く場合。
	5	事故が死因となる場合。

②転倒件数・転倒経験割合・転倒発生率・損傷発生率（2023年）（n=64）

【定義】自分の意志ではなく、身体の足底以外の部分が床についた状態を転倒とする。

【算出方法】 転倒件数 = 同一者が2回転倒したら2件

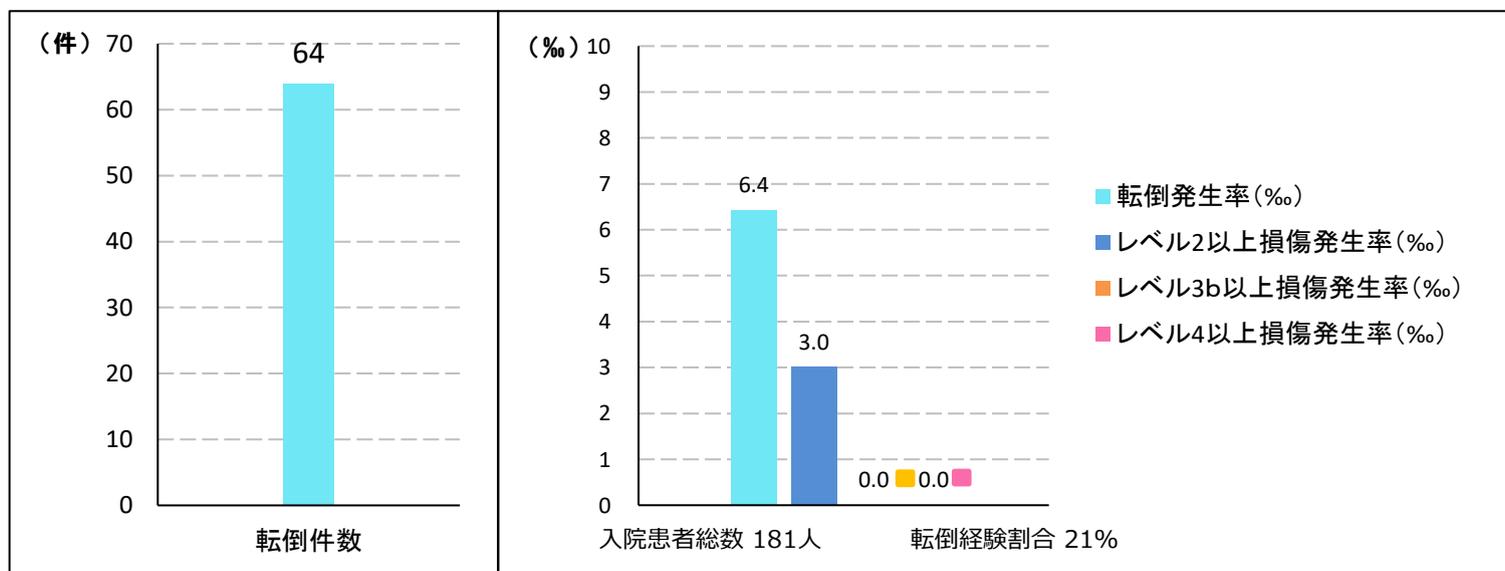
転倒経験者 = 同一者が2回転倒したら1件

転倒経験割合 = $\frac{\text{分子：転倒経験者}}{\text{分母：入院患者総数}} \times 100$ （単位%）

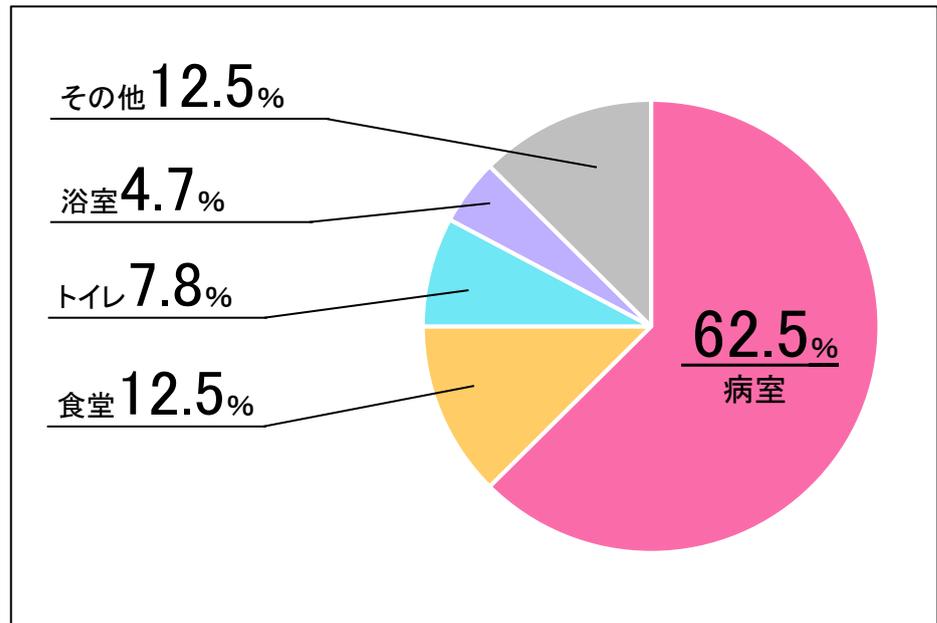
転倒発生率 = $\frac{\text{分子：入院期間中の転倒延べ回数}}{\text{分母：入院患者延べ人数}} \times 1000$ （単位‰）

レベル2,3b,4以上損傷発生率 = $\frac{\text{分子：入院期間中のうちレベル2,3b,4以上の件数}}{\text{分母：入院患者延べ人数}} \times 1000$ （単位‰）

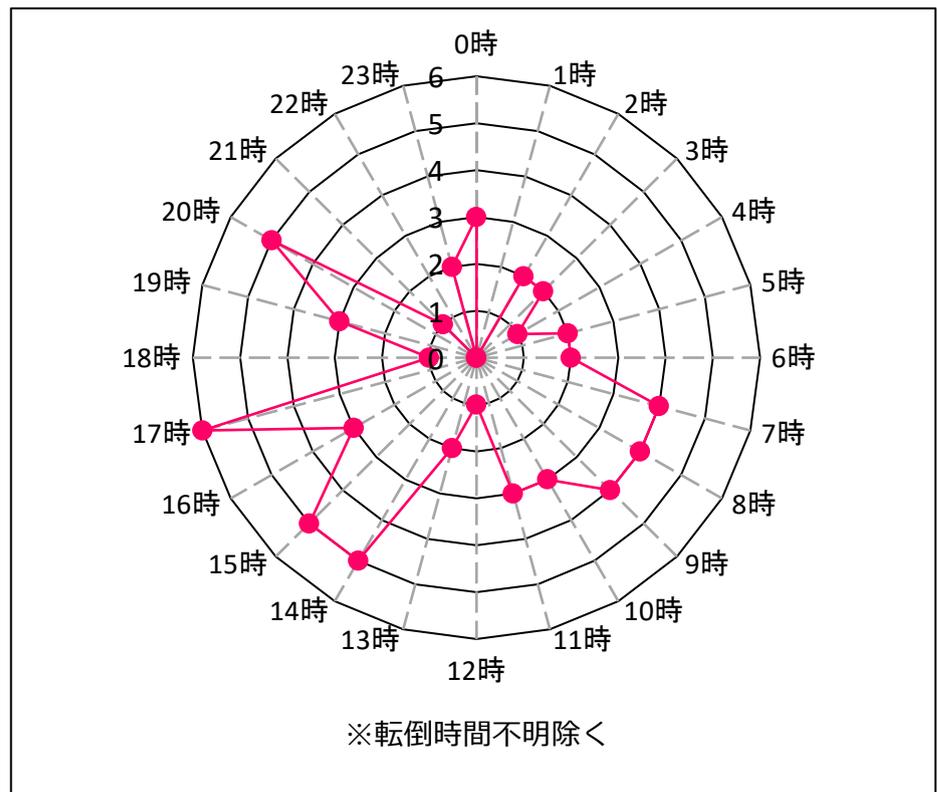
※回復期対象外も含む



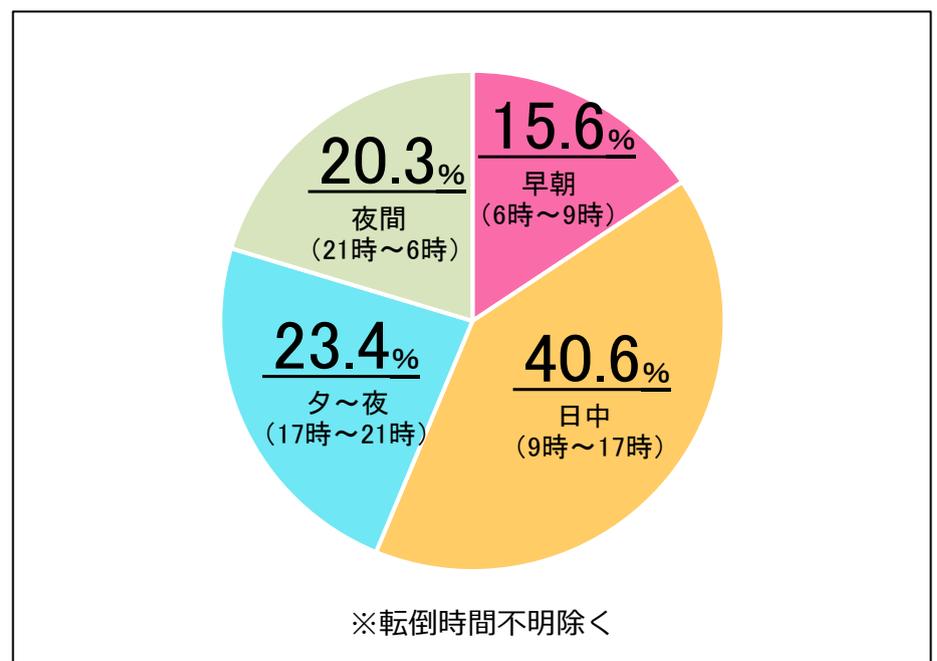
③ 転倒の場所 (n=64)



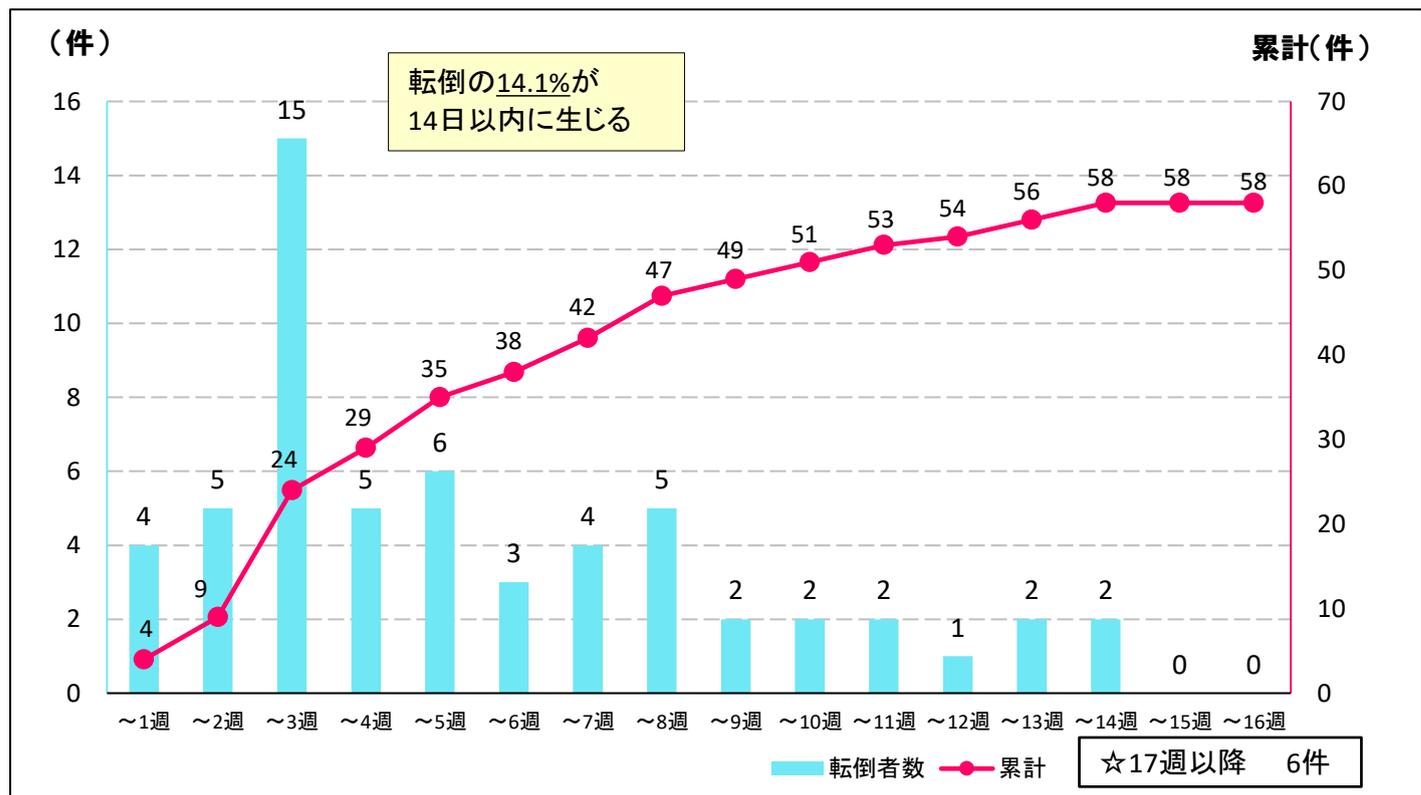
④ 転倒の発生時間・発生件数 (n=64)



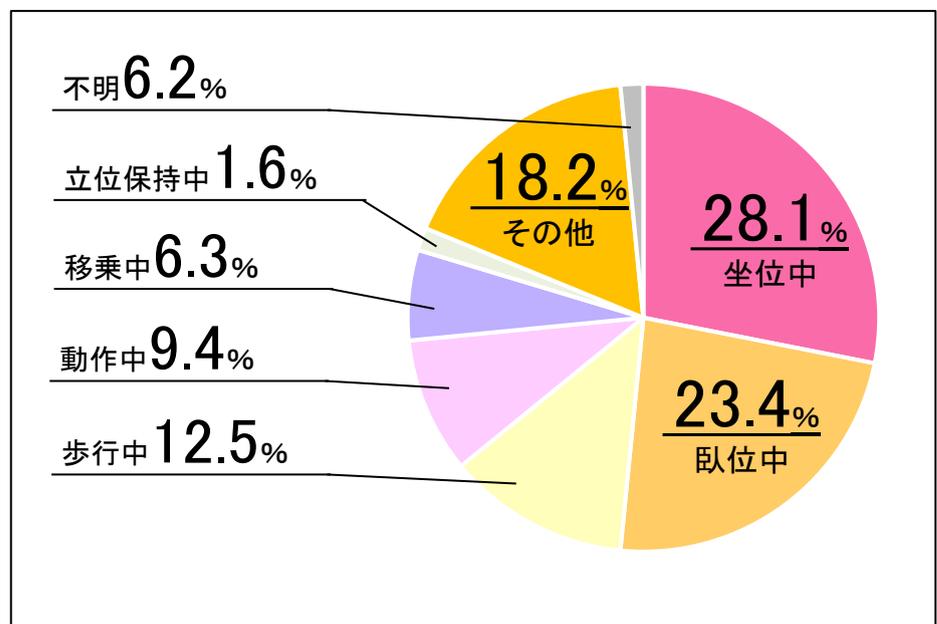
⑤ 転倒の時間帯別・発生割合 (n=64)



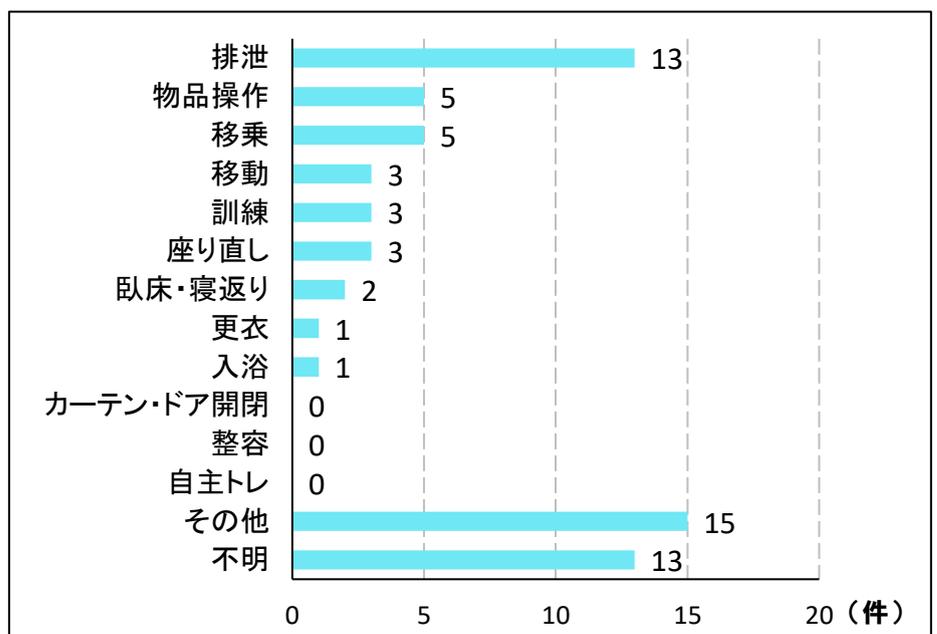
⑥入院から転倒発生までの期間 (n=64)



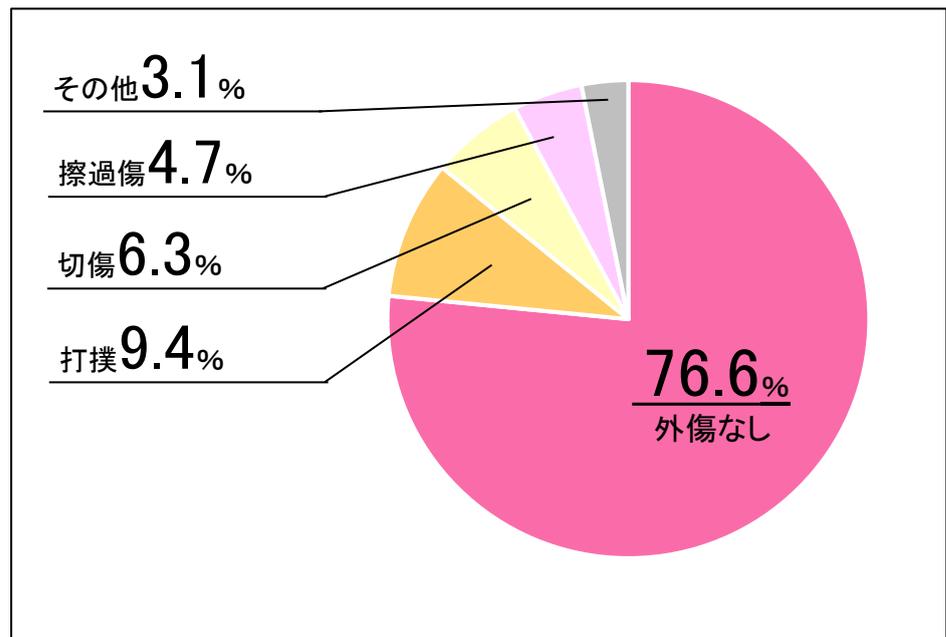
⑦転倒発生時の動作 (n=64)



⑧転倒時の行動理由 (n=64)



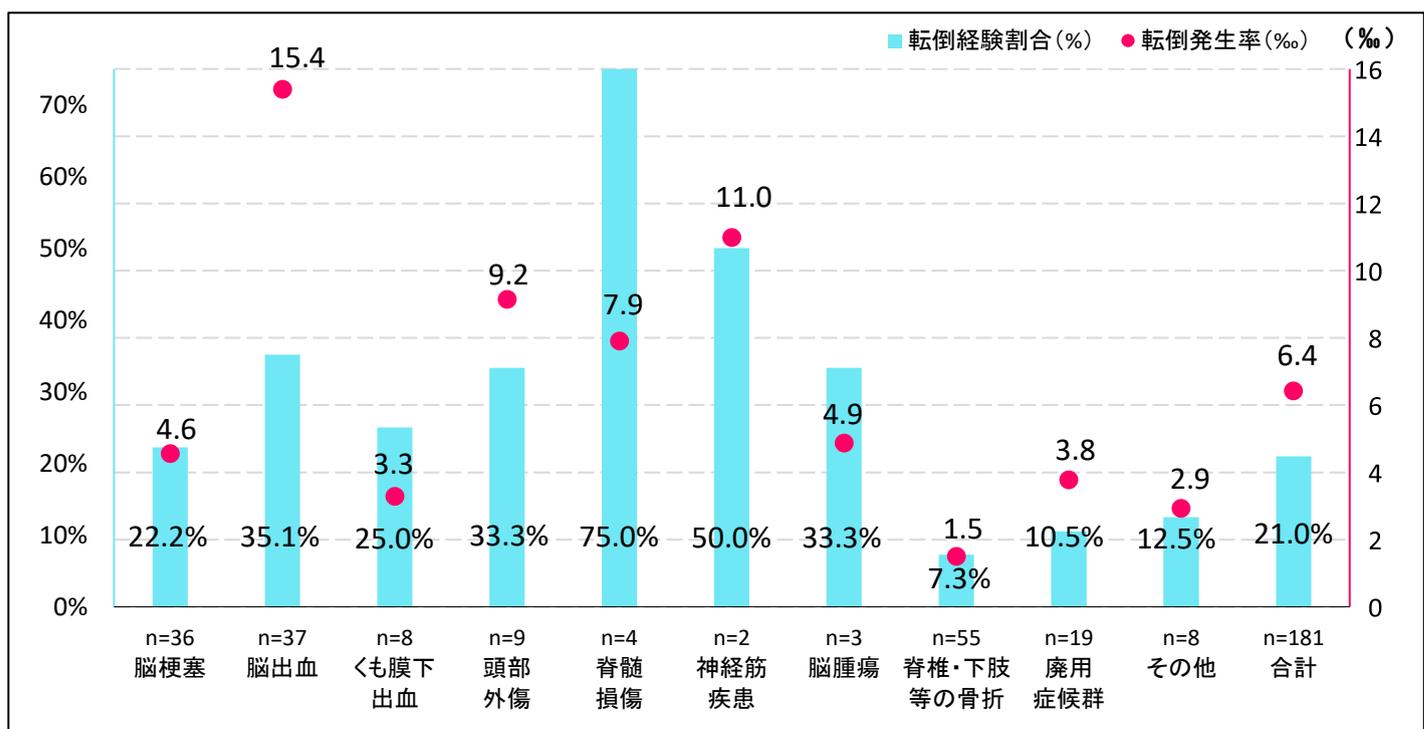
⑨ 転倒後の外傷 (n=64)



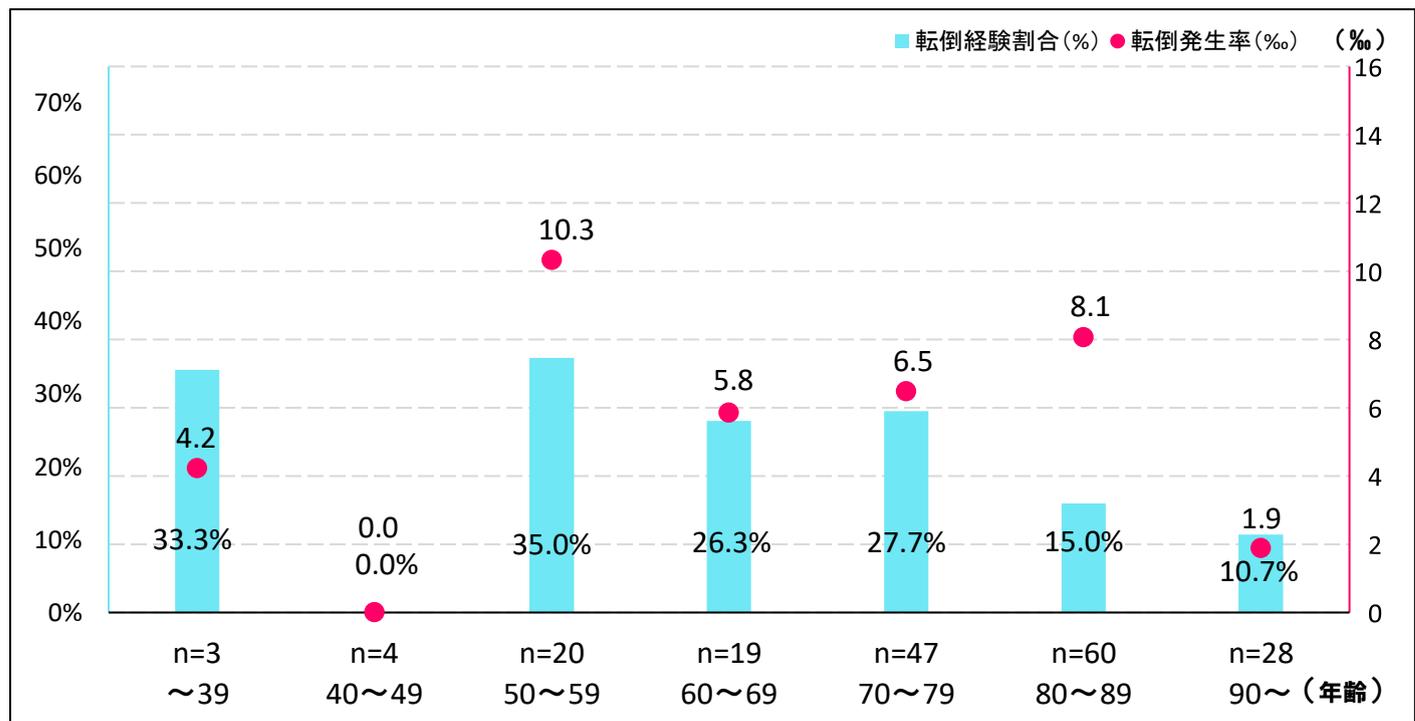
⑩ 疾患別転倒回数の割合 (n=61 ※下記疾患に限定して集計)



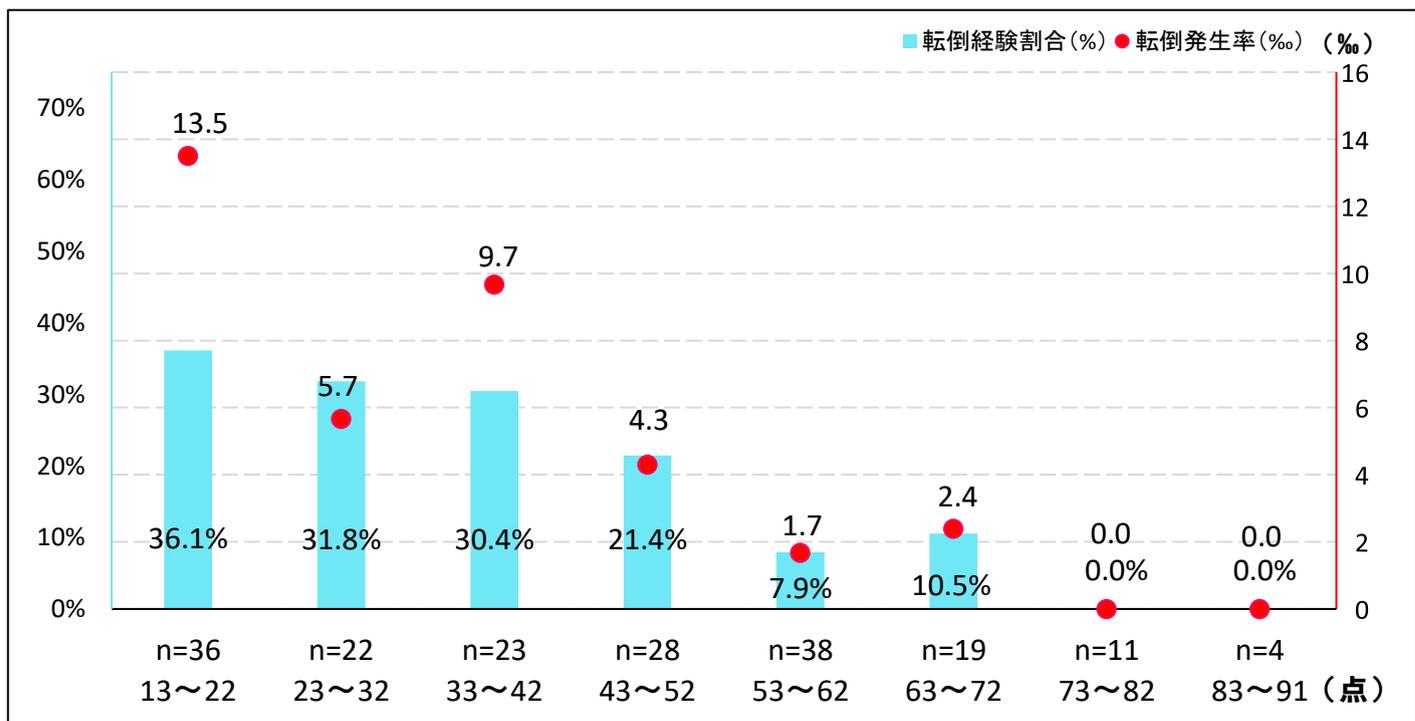
⑪ 疾患別転倒経験割合・転倒発生率 (n=181)



⑫年齢別転倒経験割合・転倒発生率 (n=181)



⑬入院時FIM運動項目(合計点)転倒経験割合・転倒発生率 (n=181)



⑭入院時FIM認知項目(合計点)転倒経験割合・転倒発生率 (n=181)

